

小学1年1組 生活科学習指導案

指導者 和田 律 央

年長児と一緒に楽しむ遊びを考える学び合いの中で、「いっしょになかよく」というめあてをもって遊びを考えたり、実際に遊んでみたりする活動を設定したことは、相手意識をもって関わろうという願いを高めることに有効であったか。

1 単元名 いっしょになかよくあそぼうよ ～年長さんとのわいわいランド～

2 単元のねらい

年長児と遊ぶ活動を繰り返す中で、年長児に親しみをもち、進んで関わろうとする願いをもつことができる。

3 授業の構想

(1) 本学級の児童たちは、市内10の保育園・幼稚園から集まってきた子どもたちである。それぞれ保育園・幼稚園が違っているため、入学当初はそれぞれがお互いの様子を眺めながら緊張して接していた。しかし、自己紹介や友だち同士の関わりを深める活動を積極的に取り入れることにより、出身幼稚園・保育園の差異も徐々に薄れ、お互いに認め合いながら仲よく遊ぶ姿が随所に見られるようになってきた。

入学当初より6年生の子どもたちが、学級へやってきてかばんの用意や学習の準備の手伝いをしてくれたり、休み時間には一緒に遊んでくれたりしている。6年生の、1年生のことを考えて接してくれるやさしい関わり方に、安心して学校生活を送っている姿が見られる。また、2年生とは、学校探検で校舎内を一緒に歩き、学校の様子を教えてもらったり、校外活動で近くの公園に行く際には、常に手をつなぎ、ペアやグループで共に活動をしたりした。このように、異学年のお兄さん、お姉さんに見守られ、助けられながら学校生活を送っている。この関わりの中で見たり、感じたりしたことを、今後の異年齢交流にいかしていけるようにと願っている。また、子どもたちは、様々な活動をする中で「〇〇さんと遊びたい。」という思いをもっている姿は見られるが、「〇〇さんは、何がしたいかな。」という思いをもつ子どもはほとんどいない。そこで、このような実態を踏まえ、伝えたいことが相手に伝わることの楽しさや相手が伝えたいと考えていることを理解できる楽しさ、そして互いの気持ちと心のつながりが豊かになる楽しさを実感することで、相手意識のある双方向のコミュニケーションを築くことにつなげていきたいと考えている。

(2) 本校では、平成20年度より、生活科の学習の中で隣接する附属幼稚園の年長児と1年生との交流活動を年間を通して行ってきた。「わいわいランド」と称したこの活動では、年長児との関わりを通して1年生になったことを実感したり、前月より今月の方が上手にできるようになったと感じたりすることをねらいとしている。この活動を通して、自分の成長についての無自覚な気づきが自覚できるようにしていきたい。さらに、年長児との関わりの中で、願いをもって活動に取り組んだり、新たな課題を見いだしたりする姿を、本学校園生活科が考える学びをいかしている姿だと考えている。

このような姿が表れていくように、一貫教育のよさをいかした附属幼稚園との交流を通して、「教室のおとなりさん」からクラスの友だちへ、そして、先生、6年生、2年生、幼稚園の年長児というように、関わりを広げながら、さらに多くの人々と関わりたいという願いをもてるようにしていきたい。年長児との活動では、自分の経験や発想をもとにして自由に活動に没頭することで、遊びや年長児、そし

て、自分自身についての気づきを広げていく。

1学期のわいわいランドでは、自分がやりたい遊びに没頭する中で、年長児との関わりを楽しみながら、相手意識の芽生えをはぐくんでいきたい。そして、この活動を通して、「もっと～したい」という子どもたちの願いの高まりと共に、「～もやってみたい。」「～をやってみたらどうかな。」と考えたり、実際に活動したりする思考力・判断力・表現力を高めることで、単元を通して気づきの質を高めていきたいと考えた。

- (3) 子どもたちが学んだことをいかすためには、子どもたちにとって没頭して何度でも挑戦できる場の設定が大切となる。本単元でねらっているのは、よりよいコミュニケーションをとるための相手意識の芽生えである。そのために最初は、遊び自体を楽しむことや初めての活動に慣れることができるように、自由に遊ぶ場を設定する。2回目は、より年長児との関わりを意識できるようにペアを組んで一緒に遊ぶ場を設定する。そして、3回目は、関わりを少しずつ広げられるように、ペアを母体とした小グループでの活動を設定し、対象を徐々に広げながらよりよいコミュニケーションがとれるような展開を考えた。1学期の活動の中で年長児と繰り返し関わっていくことで、子どもの年長児への思いを高め、1年生になったことの実感や自分の成長を自覚できるようにしていきたい。

本時は、これまでに中庭でどんな遊びをしたのかを伝える時間をとる。遊びを伝える中で「年長さんと一緒に楽しめる遊びを見つけよう」と投げかけることで、「一緒に楽しめるかどうか試みに遊んでみたい。」という願いにつなげたい。遊びを見付けようとする姿を見取りながら、適宜「年長さんも楽しいかな?」「どうしてそれをしようと思ったの?」「これもやってみたらどう?」「〇〇さんのをヒントにしたら?」など、掘り下げたり、提案したりする。自分たちの遊びを一緒になかよく遊べるかどうか確かめてみたり、「これではだめだ!何か他の方法を!」と新たな課題を見つけたりしながら、次のわいわいランドに向けて願いを高めていく姿を目指していきたい。

4 展開計画 (全10時間 本時 7 / 10)

次	主 な 学 習	時	具体的な学習・内容 (◇印は、学び合い)
1	年長さんと園庭で楽しく遊ぼう。	1 2 3 4	・年長児のいる中で、園庭で自由に遊ぶ。 ・年長児との遊びで楽しかったことを振り返る。 ・園庭でペアの年長児と一緒に遊ぶ。 ・ペアの年長児との遊びで楽しかったことを振り返る。
2	年長さんと一緒に楽しめる遊びを考えよう。	5・6 ⑦	・小学校の中庭での遊びを考えながら遊ぶ。 ◇それぞれの遊びを伝え合い、年長児と一緒に楽しく遊ぶことのできる遊びを見付ける。
3	年長さんと小学校の中庭で楽しく遊ぼう。	8・9 10	・小学校の中庭でペアの年長児と「一緒に楽しく」遊びを楽しむ。 ◇遊んでみて見つけたことや、もっとやってみたくなったことを伝え合う。

5 本時の学習

- (1) ねらい

「一緒に楽しく」という視点をもって遊びを見付ける活動をすることで、遊びを試したり確かめたりしながら年長児を意識して遊びを考えることができる。

(2) 展 開

学習場面と子どもの取組 (◎は、学びをいかしている子どもの姿)	教師の支援と願い・評価
<p>1. 自分が考えた遊びについて出し合う。 【考えられる遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂遊び ・雲梯 ・鉄棒 ・登り棒 ・虫とり ・草遊び <p>◎かんたんすぎるかもしれないな。 ◎年長さんも楽しめるか、もう1回考えて遊んでみたい。 ◎年長さんがやっても危なくないか、試しにやってみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭でペアの年長さんと遊んだ様子や前時に中庭で遊んだ写真やふりかえりを掲示することで、楽しく遊んだ様子を伝えやすくする。 ・遊びを出し合う中で、「一緒に」や「楽しく」という視点での気付きを取り上げることで学級全体で共有し、相手意識をもって遊びを考えることに意識が向くようにする。
<p>年長さんと一緒に楽しめる遊びをみつけよう</p>	
<p>2. 一緒に楽しむことを意識して、自分が考えた遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな遊びをしようかと困っている子ども ・一つの遊びで満足している子ども ・いろいろな遊びをしている子ども <p>砂遊び ◎スコップがもっとたくさんあればたくさんの方ができるよ。</p> <p>雲梯 ◎もっと台がないと年長さんは困るかもしれないな。</p> <p>登り棒 ◎棒を持ってまわるのは難しいかもしれないな。</p> <p>鉄棒 ◎小学校の鉄棒は高いから、上に上がるときには台があった方がいいかな。</p> <p>虫とり、草遊び ◎虫を入れるかごやお花を入れるものがあるといいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの見つけた遊びをやるように声をかける。 ・「一緒に楽しめる遊び」という点について、どのような願いをもっているか聞き取り、価値付けていく。 ・一つ一つの遊びをしてみて感じたことを聞くことで、どの遊びが一番「一緒に楽しめる遊び」だったのかについて考えることができるようにする。 <p>— 評価の観点(身近な環境や自分についての気付き) —</p> <p>年長さんと一緒に楽しく遊ぶためにどんな遊びがしたいのか、相手を意識しながら考えている。</p> <p>【評価方法 発言・行動観察】</p> <p>支援 どうしてその遊びを選んだのかを聞くことで、遊びについてのこだわりや年長児への思いを引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時に向けて、年長児と一緒に楽しく遊びたいという願いが高まるように、場合によっては遊びについての気付きを共有する時間をとる。

(3) 思考力・判断力・表現力の評価

	A	B	C
評価基準	「一緒に楽しめる」という視点を持ち、具体的な姿を思い描きながら年長児との遊びを考えている。	「一緒に楽しめる」という視点をもって、年長児との遊びを考えている。	自分がやりたい遊びに留まっている。